

特別展示 奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物と文化財科学

記念館一般公開

国立大学法人 奈良女子大学

フェスタ7
国立大学2013 JANU



旧奈良女子高等師範学校本館《重要文化財》

平成25年10月29日(火)
~11月4日(月)

午前9時~午後4時30分
(入館は午後4時まで)

入場
無料



漆彩繪花形皿

黄金瑠璃鈿背十二稜鏡

交通

近鉄奈良駅1番出口から徒歩5分
JR奈良駅から市内循環バス
近鉄奈良駅前下車徒歩5分
※車での来場はご遠慮願います。

連絡先

奈良女子大学 総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



奈良女子大学記念館について

奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月から始まり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。

設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入したもっとも古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」がおかれ、往事を偲ぶことができます。

特別展示

(タンパク質考古学創成事業本部企画)

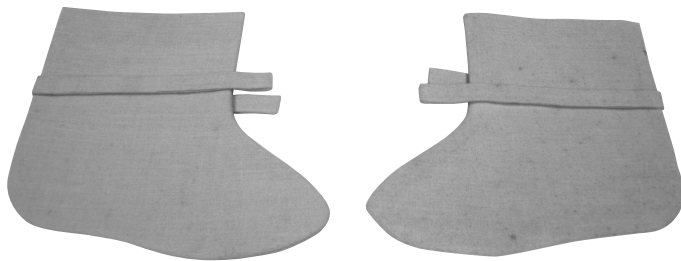
奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物と文化財科学



山水絵図密陀絵盆



正倉院御物箱



襪(しとうず)



華烟飛龍鳳凰極貞家墨

「奈良女子高等師範学校教材としての正倉院模造宝物」

奈良女子大学は、前身である奈良女子高等師範学校の頃から多様な教材を収集しています。創立以来、これらの教材資料が散逸せずに現存していることは大変貴重であるといえます。そのなかでも正倉院模造宝物は、他大学・研究機関にはない点数と内容を誇ります。

戦前は、正倉院宝物はごく一部の限られた人しか見ることはできませんでした。本学所蔵の模造宝物は、明治から昭和初期にかけて実際の正倉院宝物の修理に携わった当代の名工たちが、奈良時代の工芸技術の復元を試みながら、製作されたものです。模造宝物は、本学における定期的な展覧のほか、学外機関へも度々貸し出しています。模造宝物は美術工芸品としても歴史教育の資料としても大きな価値を含み、現代の宝物製作・修復のための有力な情報も有しています。現在、奈良女子大学では、美術史・工芸史の観点からの研究に加え、こうした文化財に含まれる有機物の分析を通して、研究の広がりを見せています。